

寅さん歩 その19

バーチャルウォークで 中山道（東下り）を歩くー11



平野 武宏

バーチャルウォーク東海道五十三次で京都・三条大橋に到着した寅次郎、帰路はバーチャルウォーク中山道六十九次で江戸・日本橋へ戻ります。

今回は各宿場を紹介しながら、京都からの中山道（東下り）を楽しみます。

各宿場の紹介は山と溪谷社の「歩いて旅する中山道」を参考にしました。写真は無料画像を使用しています。

前は芦田宿から岩村田宿まで歩きました。今回は小田井宿から坂本宿まで歩きます。

[小田井宿] 長野県北佐久郡御代田町小田井

最寄駅 しなの鉄道 御代田駅

2024年5月17日小田井（おたい）宿（京都・三条大橋から374km）に到着しました。小田井宿は小宿でしたので、大名は華やかな隣の追分宿に泊まりましたが、皇女和宮を始め、姫君たちはここを休宿に利用したので「姫の宿」と呼ばれました。写真下左は本陣跡、写真下右は家並みです。



[追分宿] 長野県北佐久郡軽井沢町追分

最寄駅 しなの鉄道 信濃追分駅

2024年5月17日追分（おいわけ）宿（京都・三条大橋から379km）に到着しました。北国街道と中山道の追分、分去（わかされ）です。街道筋には本陣跡や復元された高札場、堀辰雄文学記念館があり、記念館には宿場の歴史遺産として本陣門が移設されています。追分は堀辰雄が疎開と療養を兼ねていて定住した終焉の地です。終焉となった家や書庫などが保存されています。また、追分は各地の追分節の発祥の地でもあります。写真下右の右側の道は北国街道、左側の道は中山道です。



[沓掛宿] 長野県北佐久郡軽井沢町中軽井沢

最寄駅 しなの鉄道 中軽井沢駅

2024年5月17日沓掛（くつかけ）宿（京都・三条大橋から382km）に到着しました。軽井沢、沓掛、追分は浅間三宿と呼ばれ「木曾名所図会」には「三宿は浅間岳の腰にて地形いよいよ高し・・・たいらなる広野地」とあります。沓掛の名は公式には失われましたが、長谷川伸の戯曲「沓掛の時次郎」でその名が残されています。



[軽井沢宿] 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢

最寄駅 長野新幹線 軽井沢駅からバス利用

2024年5月18日軽井沢宿（京都・三条大橋から387km）に到着しました。旧軽井沢銀座が宿場の後です。明治時代以降、欧米人宣教師の避暑地として広く紹介され、多くの外国人や財界人が住む避暑地として変貌を遂げ、宿場町としての面影は少ないです。現在の上皇ご夫妻の出会いの地として話題になりました。



信濃路はここまで、これから上州路（群馬県）に入ります。

[坂本宿] 群馬県安中市松井田町坂本 最寄駅 JR信越本線 横川駅

2024年5月21日坂本宿（京都・三条大橋から399km）に到着しました。1625年（寛永2年）に計画的に作られた宿場で、家並みが整然としていました（写真下左右）。前後に碓氷関所と峠を控え、旅装を解く人が多かったそうです。



今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝